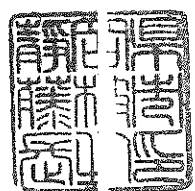


連携中枢都市圏の形成に係る
連携協約書



平成29年3月30日

静岡市 藤枝市

静岡市及び藤枝市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約

静岡市（以下「甲」という。）及び藤枝市（以下「乙」という。）は、連携中枢都市圏を形成するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項の規定に基づき、次のとおり連携協約を締結する。

（目的）

第1条 この連携協約は、甲及び乙が連携中枢都市圏の形成に協力して取り組むための基本方針、取組内容及び役割分担を定めるものとする。

（基本方針）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、別表の取組の欄に掲げる取組の区分に応じ、同表の内容の欄に定める事務について、相互に連携し、又は協力して処理するものとする。

（役割分担及び費用分担）

第3条 甲及び乙が実施する前条に規定する事務の役割分担については、別表の内容の欄に掲げる事務の区分に応じ、それぞれ同表の甲の役割分担の欄及び乙の役割分担の欄に定めるとおりとする。

2 前項の事務の実施に要する費用の分担については、甲及び乙が協議して別に定める。

（定期的な協議）

第4条 甲及び乙は、この連携協約の推進に関し連絡調整を図るため、毎年度協議を行うものとする。

（協約の変更及び廃止）

第5条 この協約の規定を変更し、又は廃止しようとする場合は、甲及び乙の協議によるものとする。この場合において、甲及び乙は、地方自治法第252条の2第4項の規定により、あらかじめ議会の議決を得ることとする。

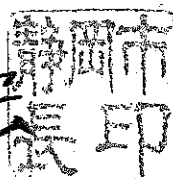
この連携協約の締結を証するため、本協約書2通を作成し、甲及び乙が記名押印の上、それぞれ各1通を保有する。

平成29年3月30日

甲 静岡県静岡市葵区追手町5番1号

静岡市

静岡市長

田辺信彦 

乙 静岡県藤枝市岡出山一丁目11番1号

藤枝市

藤枝市長

北村正平 

別表 (第2条、第3条関係)

取組	内容	甲の役割分担	乙の役割分担	
1 圏域 全体の 経済成 長のけ ん引	(1) 産学金官 民一体とな った経済戦 略の策定、 国の成長戦 略実施のた めの体制整 備	経済戦略の策定と推進、進 捗管理 産学金官民一体となった 協議会の運営、圏域の経済 戦略の策定、推進、進捗管 理などを通じて、経済成長 を図る。	連携中枢都市宣 言 (以下「宣言」 という。) の趣旨 に則り、乙と連携 して、産学金官民 一体となった協議 会の運営、経済戦 略の策定、推進、 進捗管理などに取 り組む。	甲と連携して、 産学金官民一体と なった協議会に参 加、経済戦略の策 定、推進、進捗管 理などに取り組 む。
	(2) 産業クラ スターの形 成、イノー ベーション実 現、新規創 業促進、地 域の中堅企 業等を核と した戦略産 業の育成	産学金官連携、創業促進に よる戦略産業の育成 戦略産業の育成に向け、 人材育成や企業等の支援、 起業創業支援、産学金官の コーディネートなどを 行う。	宣言の趣旨に則 り、乙と連携し て、産学金官連 携、創業促進に よる戦略産業の育成 などに取り組む。	甲と連携して、 産学金官連携、創 業促進による戦略 産業の育成などに 取り組む。
	(3) 地域資源 を活用した 地域経済の 裾野拡大	地域資源の活用 地域資源のブランド化、 活用による情報発信、商 品・サービス開発、販路開 拓等を通して、地域経済の 活性化を推進する。	宣言の趣旨に則 り、乙と連携し て、地域資源の活 用などに取り組 む。	甲と連携して、 地域資源の活用な どに取り組む。
	(4) 戦略的な 観光施策	広域観光等の推進 観光資源を活用した広域 観光ルートの造成やプロモ ーション、国内外観光客の 受入環境整備の推進など を通じて、観光施策に戦略 的に取り組む。	宣言の趣旨に則 り、乙と連携し て、広域観光等 の推進などに取 り組む。	甲と連携して、 広域観光等の推 進などに取り組 む。
2 高次 の都市 機能の 集積・ 強化	(1) 高度な医 療サービス の提供	医療サービス体制の充実 広域的な救急医療体制の ほか、先進医療の充実な ど、医療サービスを安定的 に提供できる体制の構築と 医療の質の向上などに取 り組む。	宣言の趣旨に則 り、乙と連携し て、医療サービス 体制の充実など に取り組む。	甲と連携して、 医療サービス体制 の充実などに取 り組む。
	(2) 高度な中 心拠点の整 備・広域的 公共交通網 の構築	高次かつ広域的な都市機能 の強化 集客・交流拠点の整備・ 活用、広域的交通網の活用 等による圏域の魅力の創出 などに取り組む。	宣言の趣旨に則 り、乙と連携し て、高次かつ広 域的な都市機能 の強化などに取 り組む。	甲と連携して、 高次かつ広域的 な都市機能の強 化などに取 り組む。

(3) 高等教育・研究開発の環境整備	地域と未来のニーズに応える人材育成 圏域の企業等のニーズに応じられるとともに、地域の未来を担う人材を育成する高等教育環境、企業と連携したキャリア教育や学び直しの場の整備などに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、地域と未来のニーズに応える人材育成などに取り組む。	甲と連携して、地域と未来のニーズに応える人材育成などに取り組む。	
3 圏域全体の生活関連サービスの向上	(1) 生活機能の強化	ア 地域医療分野 病診連携の一層の推進や広域自治体との連携による地域医療支援病院の体制強化などの地域医療の強化に取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、地域医療分野の強化に取り組む。	甲と連携して、地域医療分野の強化に取り組む。
	イ 介護・福祉、結婚・子育て支援分野 地域包括ケアの推進による在宅医療・介護の推進、障がい者を地域で受け入れる共生社会の推進、結婚・子育てを応援する地域づくりなどに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、介護・福祉、結婚・子育て支援分野の強化に取り組む。	甲と連携して、介護・福祉、結婚・子育て支援分野の強化に取り組む。	
	ウ 教育・文化・スポーツ分野 文化・スポーツ振興及びこれらを通じた交流人口の拡大と地域振興を図るほか、社会教育施設等の相互利用の拡大推進、大学等教育機関との連携による生涯教育の推進などに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、教育・文化・スポーツ分野の強化に取り組む。	甲と連携して、教育・文化・スポーツ分野の強化に取り組む。	
	エ 地域振興分野 地域資源の活用による地域産業の振興と、雇用の創出、起業創業の促進、広域的な企業誘致、大学等による地域課題研究の取組などを通じて地域の振興に取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、地域振興分野の強化に取り組む。	甲と連携して、地域振興分野の強化に取り組む。	
	オ 災害対策分野 災害・減災対策の推進・強化などに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、災害対策分野の強化に取り組む。	甲と連携して、災害対策分野の強化に取り組む。	
	カ 環境分野 豊かで多様な環境を将来の世代へ継承し、持続可能な社会を実現するため、自然環境の保全、地球温暖化対策の推進、ごみの減量・資源化などに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、環境分野の強化に取り組む。	甲と連携して、環境分野の強化に取り組む。	

(2) 結びつきやネットワークの強化	ア 地域交通インフラ分野 地域住民の移動手段の確保及び利便性の向上、まちの賑わい創出、人の交流の促進などを図るため、地域公共交通ネットワークの維持・強化に取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、地域交通インフラ分野の強化に取り組む。	甲と連携して、地域交通インフラ分野の強化に取り組む。
	イ ICTインフラ整備分野 国内外からの観光客誘致などにつながるWiFi環境の整備推進などに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、ICTインフラ整備分野の強化に取り組む。	甲と連携して、ICTインフラ整備分野の強化に取り組む。
	ウ 地域内外の住民との交流・移住促進分野 大都市圏からの移住定住の促進及び交流人口の拡大を図るため、圏域の魅力を発信するとともに、企業の人材確保とU I Jターンにつなげるための圏域企業の情報発信などに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、地域内外の住民との交流・移住促進分野の強化に取り組む。	甲と連携して、地域内外の住民との交流・移住促進分野の強化に取り組む。
(3) 圏域マネジメント能力の強化	ア 圏域の自立を担う人材・団体の育成 地域の個性を磨き、圏域の自立を担う人材や団体の育成などに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、圏域の自立を担う人材・団体の育成などに取り組む。	甲と連携して、圏域の自立を担う人材・団体の育成などに取り組む。
	イ 外部人材の活用による圏域の活性化 圏域が抱える課題解決、圏域の活性化を図るため、外部の優れた人材の活用などに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、外部人材の活用による圏域の活性化などに取り組む。	甲と連携して、外部人材の活用による圏域の活性化などに取り組む。
	ウ 自治体職員の育成 圏域マネジメント能力の強化に資する自治体職員の育成を目的とした情報交換や交流、人材育成事業などに取り組む。	宣言の趣旨に則り、乙と連携して、情報交換や交流、人材育成事業などに取り組む。	甲と連携して、情報交換や交流、人材育成事業などに取り組む。

